

# JAHIS 2026年 新春講演会&賀詞交換会

事務局 総務部長  
てらさき たかひろ  
寺崎 貴宏



1月21日（水）16：00より、東京内幸町のイイノカンファレンスセンターにおいて、2026年新春講演会&賀詞交換会」を開催いたしました。ご来賓、会員等210名を超える方にご参加いただき、大変盛況なイベントになりました。

## ■プログラム

<b>第1部 新春講演会</b>	<b>司会進行</b>	<b>大寄 朋子</b>
(1) 開会挨拶	総務会長	下山 赤城
(2) 「2026年の年頭にあって」	運営会議議長	岩津 聖二
(3) 特別講演「あなたを変える行動経済学 ～医療・健康・福祉での活用～」	大阪大学 特任教授	大竹 文雄 様
(4) 新規入会会員ご紹介		
(5) 閉会挨拶	総務会副会長	柴 健一郎
<b>第2部 賀詞交換会</b>	<b>司会進行</b>	<b>大寄 朋子</b>
(1) 開会挨拶	JAHIS会長	長堀 泉
(2) ご来賓挨拶	厚生労働省 医政局 参事官	木下 栄作 様
	経済産業省 ヘルスケア産業課長	福田 光紀 様
	デジタル庁 国民向けサービスグループ 審議官	上仮屋 尚 様
(3) 乾杯	一般財団法人医療情報システム開発センター 理事長	山本 隆一 様
(4) 中締め	事務局長	福間 衡治

## ■参加人数概要

ご来賓(報道関係含む) .....	53名
会員(役員含む) .....	152名
事務局および関係スタッフ .....	13名
計	218名

### 講演会

大寄 朋子さんの司会で、下山 赤城 JAHIS総務会長の挨拶から講演会が始まりました。

#### 【運営会議議長の講演】

岩津 聖二JAHIS運営会議議長より、「2025年度の第三四半期まで」の各部会の業務報告がありました。

政府が構築と整備を目指す「全国医療情報プラットフォーム」に対して、JAHISでは事業企画推進室がHUB機能を果たし、ACTION1~3の活動を通じて、部会を横断する対応を行ったと総括した。またサイバーセキュリティ対策として、会員企業への情報提供、セミナー開催等、業界全体のセキュリティレベル向上のための活動を行った。

2025年度の第三四半期までの各部会の活動概要として、

- ・総務会：会員数は、新規入会12社を迎え2026年1月現在で379社となった。また定例理事会、社員総会、会誌発行など予定したイベントは滞りなく実施した。
- ・標準化推進部会：JAHIS標準類の制定、患者安全や国際標準関連でのJAHIS内外の関連組織との連携、標準類の普及推進に向けた取り組みを行い、JAHIS標準2件、技術文書1件を制定した。
- ・医事コンピュータ部会：①オンライン資格確認等システム及び電子処方箋への対応、②2026年度診療報酬改定対応、③電子レセプト化への対応、④医療保険業務研究協会の調査研究事業の報告書作成、⑤診療報酬改定DX対応を実施した。
- ・医療システム部会：患者安全への寄与と医療への貢献を目的とした情報活用基盤の拡大に向け、関連団体と協調し、相互接続性・相互運用性の確保、セキュリティ基盤の整備、人材の確保・育成を進めた。
- ・保健福祉システム部会：厚生労働省やデジタル庁、国民健康保険中央会等の施策および制度変更に対応した検討会に参画し、会員に対してタイムリーな情報提供を実施した。
- ・事業推進部：勉強会「日本の行政動向」の無料化を実施し、昨年と比べ3.5倍もの方々にご参加いただいた。国際モダンホスピタルショー、日本薬剤師会学術大会、医療情報学連合大会などに参加し、JAHISプレゼンス向上を実現した。また書籍「医療情報システム入門2023」の電子書籍を含めた販売数は5,000部を突破した。また新書「医療情報システム入門第8版」を発刊した。



司会 大寄 朋子さん



総務会長 下山 赤城



運営会議 議長 岩津 聖二

今後の活動については、以下の事業方針を説明しました。

①【国民・ユーザ向け】2030ビジョンで描くヘルスケアICTの実現に向けた推進

健康・医療・介護のデータを利活用する「データ循環型社会」に向けて、政策に対する戦略的発信を行い、それに伴う標準類・実装ガイドの整備と各会員へ普及を推進する。

②【会員向け】JAHIS参画価値の追求、健全な市場の維持・発展

会員共通の課題対応を迅速に行い、会員サービスの充実を図る。また、ヘルスケアICT市場の把握と海外を含めた新規市場の調査・活動支援を行い、活動領域の拡大とともに会員満足度の更なる向上を図る。

③【運営基盤】JAHISブランドの向上、永続的な運営基盤の確立

業界の代表として積極的に対外活動に参画・提言するための体制強化を図り、JAHISブランドの向上に努める。また、コンプライアンス体制の維持・強化を含め運営基盤の強化を推進するとともに業界に必要な人材、JAHIS運営に必要な人材の育成と確保を行う。



新春講演会の様子

### 【特別講演】

続いては、大阪大学特任教授の大竹文雄先生による「あなたを変える行動経済学 ～医療・健康・福祉での活用～」と題した特別講演です。大竹先生は、労働経済学、行動経済学を専門分野とされておりますが、新型コロナウイルスが流行った2020年4月から、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策分科会委員として、国民の行動変容を促すメッセージ製作に携わり、緊急事態宣言の発出や解除の決定に係わっておられました。メッセージを作る場合は、相手に参照点を変えて利得を強調することが重要とのこと。同じ内容であっても、「帰省を控えてビデオ通話で」とするよりも「ビデオ通話でオンライン帰省」とする方が、ポジティブな印象を与え国民の行



特別講演 大竹 文雄 様

動変容に繋がったそうです。同様に医者对患者に「ラーメンは控えて」と言うよりも、「汁を残せばラーメンは食べていい」と言った方が、大分違う印象になる。人間は非合理的な意思決定をする場合があるが、比較参照する対象よりも、得する印象を与えることが大事だとのことでした。

行動経済学とは、伝統的な経済学の仮定の変種を用いて行動を説明し、多数派の行動を予測することで、政策の処方箋を提供するものです。そしてLaibson&Listが定義するその主な原理は、①人は可能な限り最善の選択肢を選ぼうとするが、必ずしもそうならないこともある。②自分の状況を参照点と比較して、他人の行動や意図を気にしてしまう。③人は自制心の問題を抱え、判断を先延ばししたり、感情的な判断をする場合もある。④外部からの強引な指示には従わない傾向がある。そうした人間の非合理的な面を理解して、人へのアプローチをする学問です。

人は元々「現状維持バイアス（できるだけ変化を望まない）」や「現在バイアス（判断や行動を先延ばしする）」傾向にあるので、「現状維持」か、「変化」かのどちら迷った場合には、「変化」を選択し、判断や行動の先送りをしない制度や仕組みを作ることが重要であるとのことでした。

身近な具体例を出していただきながらのお話は、最後まで聴衆を惹きつけ、質疑時間も足りなくなるご講演でした。

### 【新規入会会員の紹介】

新規入会会員の紹介については、昨年に続き第1部の中で会員紹介を実施しました。

JAHISの会員数は、本年1月1日現在、新規会員12社を加え379社になりましたが、新規入会された以下の9社に自社の事業概要資料を作成いただき、その資料をプロジェクタ投影しながら、各社紹介を行いました。

株式会社 ディー・ディー・エス

株式会社 ブライエ

エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマサービス株式会社

株式会社 シスポ

株式会社 DONUTS

アクモスメディカルズ 株式会社

リコージャパン 株式会社

株式会社 クレスコ

株式会社 FIXER

最後は、柴 健一郎 JAHIS総務会副会長の閉会のご挨拶で、第1部は閉会となりました。



総務副会長 柴 健一郎

## 賀詞交換会

第2部の賀詞交換会は、会場を移して18:00に開幕いたしました。冒頭の挨拶では、長堀 泉JAHIS会長より、ご臨席いただいた来賓および会員の皆様に御礼の言葉を述べられました。「2026年は、医療DXが大きく飛躍する年になるとした上で、JAHISはこれまで以上に、会員各社の事情や都合よりも、業界一体となった標準化へ活動を推進していかなければならない。また永続的にJAHIS活動をしていくためには、会員メンバーにもっと若手が参加してもらう必要がある。そうした環境を整備していきたい」とのお話がありました。

ご来賓を代表して、厚生労働省 医政局 特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官 木下 栄作様からご挨拶をいただきました。「2026年は、国は医療DXを政策の中心に据えて、全国医療情報プラットフォームの構築、電子カルテ情報共有サービスを推進していく。持続可能な保健、医療、福祉のサービスの提供に向けて、引き続きJAHISには大きな期待をしたい」とのお話がありました。

続いて、経済産業省 ヘルスケア産業課長 福田 光紀様より最近のヘルスケア産業振興の方向性について「PHRとそのデータ利活用、医療AIに関しては、大きなビジネス、成長分野に育てる必要があることから、2026年度においてはより一層JAHISと連携して、必要な政策と基盤整備を進めていきたい」とのお話がありました。

中央官庁の来賓を代表して、最後にデジタル庁 国民向けサービスグループ審議官 上仮屋 尚様が登壇されて、「厚生労働省と連携して進めているほぼ全国の中小医療機関に導入を目指す『クラウド型電子カルテシステム』のプロジェクトが、標準仕様書に基づく2026年度は各事業者の開発フェーズに入っていくので、JAHISには引き続きの協力をお願いしたい」とのお話がありました。



JAHIS会長 長堀 泉



厚生労働省 医政局 参事官  
木下 栄作 様



経済産業省 ヘルスケア産業課長  
福田 光紀 様



デジタル庁  
国民向けサービスグループ  
審議官 上仮屋 尚 様

最後のご挨拶は、一般財団法人医療情報システム開発センター 理事長 山本 隆一先生です。山本先生からは、「全ての医療従事者は、自分の個人情報ではなく患者の個人情報を扱っているという自覚を持たなければならない。『療情報システムの安全管理に関するガイドライン』によって、医療施設には2027年時点で、多要素認証の導入が義務付けられているが、まだその導入率が低い。引き続きJAHISの強力なご支援をお願いしたい」との業務連絡があり、乾杯のご発声をいただきました。



(一財)医療情報システム開発センター  
理事長 山本 隆一 様



皆様には約1時間ご歓談いただきましたが、昨年12月に新たに就任した福間 衡治 JAHIS事務局長が中締めのご挨拶を行いました。「自分らの子、孫が安心して暮らせる未来のために、現在の我々がより一層協力していこう」とまとめて、賀詞交換会を閉会いたしました。



JAHIS事務局長 福間 衡治



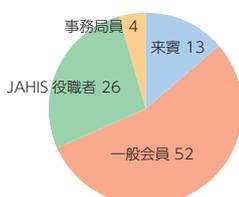
賀詞交換会 閉会後の記念撮影

## 2026年度 講演会&amp;賀詞交歓会 アンケート集計結果

●アンケート期間:2026年1月21日~1月31日 ●アンケート回答率:95/218 = 43.5% ご協力ありがとうございました!

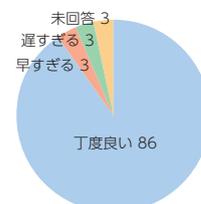
## 貴方のお立場を教えてください。

来賓	13
一般会員	52
JAHIS役職者	26
事務局員	4
上記以外	0
合計	95



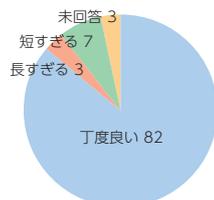
## 講演会について 開始時間について

丁度良い	86
早すぎる	3
遅すぎる	3
未回答	3



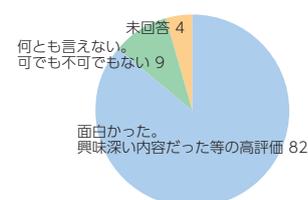
## 講演会について 全体時間について

丁度良い	82
長すぎる	3
短すぎる	7
未回答	3



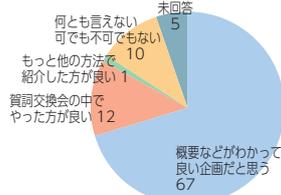
## 講演会について 特別講演者について

面白かった。興味深い内容だった等の高評価	82
面白くなかった。参考にならなかった等の低評価	0
何とも言えない。可でも不可でもない	9
未回答	4



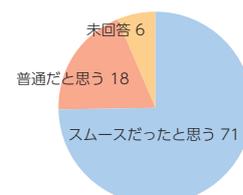
## 講演会について 新規会員の紹介について

概要などがわかって良い企画だと思う。	67
賀詞交歓会の中でやった方がよい。	12
もっと他の方法で紹介した方がよい	1
何とも言えない。可でも不可でもない。	10
未回答	5



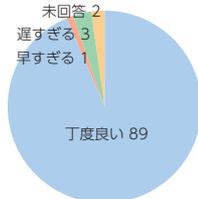
## 講演会について 全体の運用について

スムーズだったと思う	71
普通だと思う	18
改善の余地があると思う	0
未回答	6



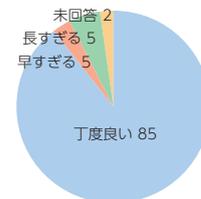
## 賀詞交歓会について 賀詞交歓会の開始時間について

丁度良い	89
早すぎる	1
遅すぎる	3
未回答	2



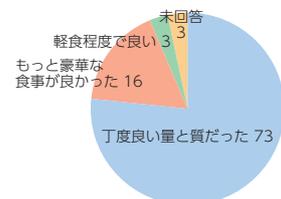
## 賀詞交歓会について 全体時間について

丁度良い	85
長すぎる	3
短すぎる	5
未回答	2



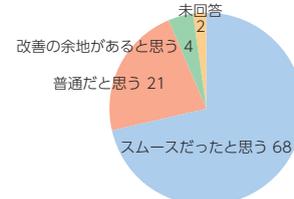
## 賀詞交歓会について 食事の量や質について

丁度良い量と質だった	73
もっと豪華な食事が良かった	16
軽食程度で良い	3
未回答	3



## 賀詞交歓会について 全体の運用について

スムーズだったと思う	68
普通だと思う	21
改善の余地があると思う	4
未回答	2



## 全体を通じたコメント

- ・場所に対して人数が多すぎる。
- ・賀詞交歓会でマイクから離れて話す方の音量が小さく、聴こえにくい場面がありました。
- ・開始から乾杯までの時間が少々長い。来場者の方に、話をしないようにしつつ飲み物を口につけることはOKとできれば良いのではないかと。
- ・乾杯までが長い
- ・会場が狭い。
- ・講演会は例年になく実用的で参考になった。今後も実用的なものを期待する。
- ・プロジェクター投影画面の下の方が見えませんでした。もう少し上の方にずらした方がよい。
- ・講師の方のお話が面白かったので招待講演の時間を拡大して欲しい。
- ・新規会員様と名刺交換の場をいただけるとよろしいかと思いました。
- ・予算的に余裕があればもう少し広い場所で周りを気にせず会話ができると感じました。食事の量は人数の割に少なかった印象です。